

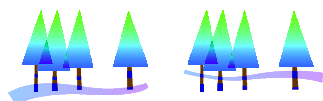


## 第6回 市民懇談会を 開催しました！

第6回目となる今回は「教育、生涯学習について考える」をテーマに、24名の市民の皆さんと5名の市役所若手職員で話し合いました。

最初に教育、生涯学習について情報提供をした後、市の施策について旗揚げアンケートでお答えいただきました（p2）。その後、『将来の越谷市が…だったらいいネ！』という思いをカードに書き、グループごとに自己紹介していただきました（P3～5）。そしてこの分野に関連した越谷の問題点を洗い出し、それを解決するような『5つの夢プロジェクト』をまとめていただきました。最後に全体の場でグループのプロジェクトを発表していただき（p6～10）、感想カードを書き（p11～12）、第6回目のワークショップを終了しました。

分野別の検討は今回で最後となりました。これまでみなさんに考えて頂いた夢プロジェクトは、合計で137プロジェクトに上ります。最後の市民懇談会では、これまでの考えを参加と協働の視点からさらに絞り込み、優先順位を考えて頂くことを予定しています。協働のプロジェクトとして実現するための行動につながる話し合いの場になることを期待したいと思います。



### [市民懇談会 開催スケジュール]

- 1 7月13日(土) 13:30～16:00  
「10年後に実現したい越谷の夢を考える」
- 2 8月4日(日) 13:30～16:00  
「福祉、健康、子育てについて考える」
- 3 8月17日(土) 13:30～16:00  
「都市計画、住宅環境、交通、公園について考える」
- 4 8月31日(土) 13:30～16:00  
「環境、防災について考える」
- 5 9月14日(土) 13:30～16:00  
「産業振興、観光について考える」
- 6 9月28日(土) 13:30～16:00  
「教育、生涯学習について考える」
- 7 10月12日(土) 13:30～16:00  
「参加と協働による取組みに  
ついて考える」

### <第6回プログラム>

- ステップ1：はじめに
- ステップ2：[旗揚げアンケート]
- ステップ3：自己紹介  
『…だったらいいネ！』
- ステップ4：10年後の越谷  
『5つの夢プロジェクト』
- ステップ5：プロジェクトの発表
- ステップ6：まとめ

5グループで24個の  
プロジェクトを考えました



## 『旗揚げアンケート』

越谷市の『教育、生涯学習』分野の施策全般について  
旗揚げアンケートでお聞きしました。

【設問】 あなたは、越谷市の『教育、生涯学習』分野の施策について満足していますか？一つを選んで番号札を上げて下さい。

|                                        |    |
|----------------------------------------|----|
| ① 概ね満足している。市はよくやっていると思う。               | 4  |
| ② 越谷市の「教育、生涯学習」分野の施策は、他市と比較しても誇れる点がある。 | 4  |
| ③ いくつかの点で気になることがある。市民の声をよく聞いて欲しい。      | 14 |
| ④ 具体的な内容についてよく知らない。                    | 4  |
| ⑤ その他                                  | 0  |

1

を選んで

参加者－1：去年、インターンでミラクルに行った時、職員からミラクル、ヒマワリ、コスモスのような、子ども達が学べる場が他の市にはないので、もっと子ども達に活用してもらいたいという話を聞いた。よくやっていると思う。

3

を選んで

参加者－3：参加者3：講座やスポーツ教室は、現役世代が参加できるような日にち、時間帯でやっているものが少なく参加できないと感じた。他の市と比べて、いろんな講座をやっているのは誇れる点で、概ね満足はしているが、その一点だけ気になった。

参加者－4：越谷市の将来像、まちづくりの目標を越谷市民にどれだけ周知しているのかが大事だと思う。施策は素晴らしいものがたくさんあるので、市役所だけではなく、越谷市全体で盛り上げていければ、より良いまちになっていくと思う。

参加者－5：図書館等、利用状況が報告されたが、これは延べ人数なので実質的にはどうか。先日、総合体育館でバスケットボールをやりたいと思って行ったが事前申し込みがないからと、やらせてくれなかった。規制緩和ではないが、市民が来たら出来るような体制をとってほしい。もう一つは越谷に住んでいる外国人のことが資料に一切書かれていない。ダイバーシティとか、きれいな言葉を言うが、そこが完全に抜け落ちている。その2点が気になった。

2

を選んで

参加者－2：公民館が充実している。生涯学習に関する講座もたくさんある。市民大学の受講者も年々増えているし、生涯学習フェスティバルも充実してきている。100%とは言えないが、他と比べて良いのではないかな。その「良いね」をどんどん伸ばして行って欲しい。公民館活動は盛んだと思う。

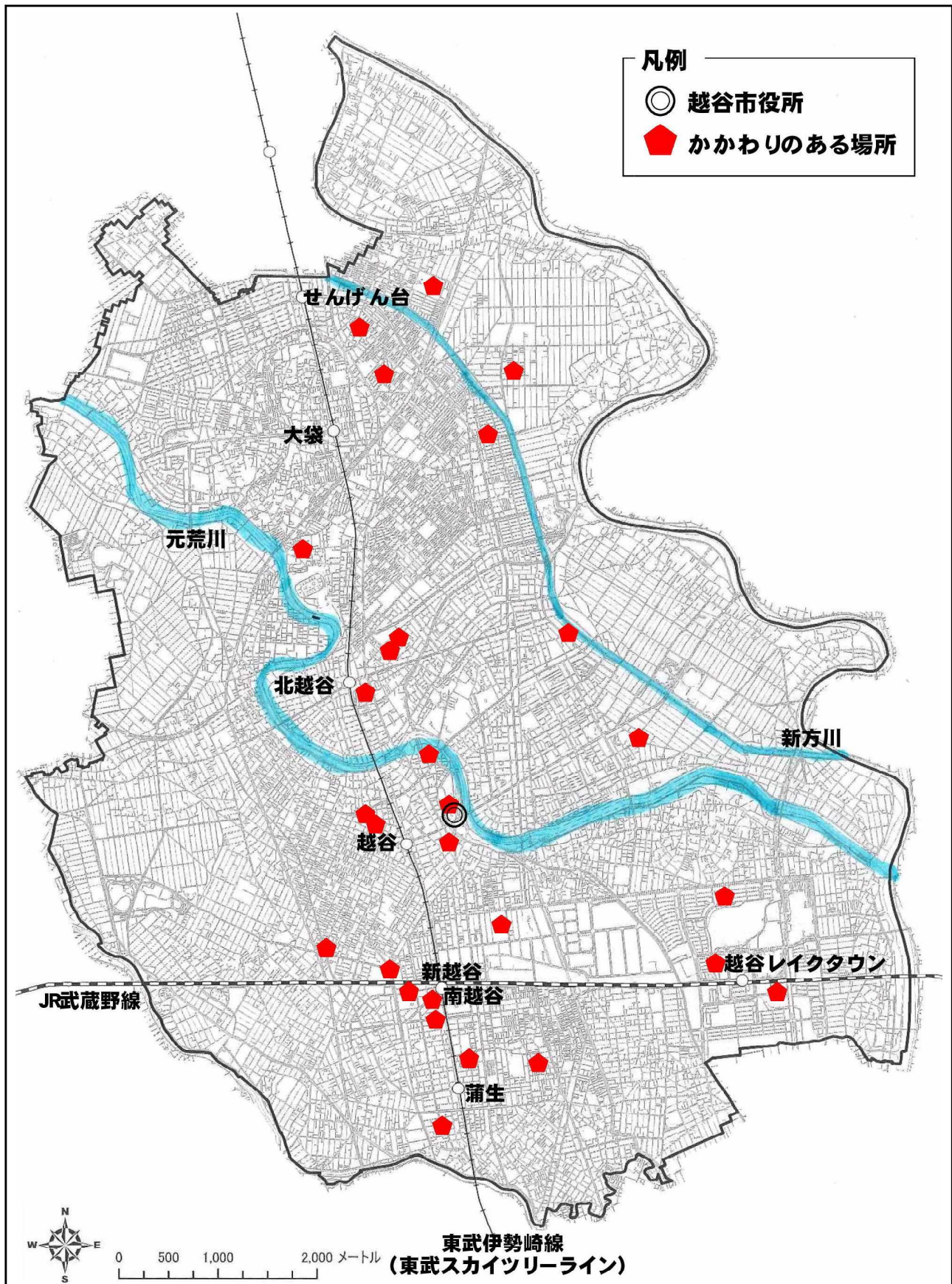
4

を選んで

参加者－6：資料には、いじめに関する指標、進学時に市外へ出る人数など、そういった分かりやすい資料がなくて評価のしようがない。私自身、小学校PTA会長をしていた際、校長に言っても何もしてくれなかったことから、身近なところも、大きなところもよく分からない。一方では息子がいじめに遭い、教育相談所に行ったが、こちらは非常に丁寧に対応してくれて、無事立ち直ったので感謝している。定性的な言葉が躍っていて、他市と何をどう比べるのか分からない中で議論してもつまらないと思う。もし指標があれば教えて欲しい。

## 自己紹介『…だったらいいネ！』

地図に自分にかかわりのある場所（お住まい等）をシールで貼った後、  
『教育、生涯学習』分野について、『将来の越谷市が…だったらいいネ！』を書いて、  
グループで自己紹介していただきました。



○越谷市は市民体育館やしらかばと運動場などの運動できる場所は限られているので、身近にバスケットや、

使いやすい  
公園の整備

サッカーができるような公園をつくって、子どもなり、子や親と一緒に遊べる場を増やしてほしい。そうしたことで、現在はスマートフォンやゲーム機などが発展しているが、スポーツで協力することで、チームワークで1つの目標に向かう精神を学べると思うし、自分たちの若者の世代は小学校の頃は野球なりサッカーなりで遊んできたので、今の時代だからこそ体を動かすべき。

○小学生が帰宅後、近所の小学生達と一緒に遊べる空間があったら良い。公園も限られているので、道路を一時的封鎖して、そこで遊べるようにする（近隣の親達の目が行き届いている）とか。シルバーカレッジの内容も毎年同じようなものでなく、変化を持たせる方が良くと思います。

○①子ども達の得意、苦手を考慮した教育現場であってほしい。②子ども達の発信、言葉を大切にすくいあげて、自発的に学べる環境をつくってほしい。③身体を動かす遊び場、運動（種別）場所について、公園、運動場など、誰もが参加しやすい場所がほしい。例：公園がボール遊びダメ等、規制が多いところが多い。

○教育：小・中学校には学校応援団ができています。地域の方が中に入り、先生のお手伝いができるようになりました。充実させたら良いと思う。  
生涯学習：越谷市には美術館、資料館がない。文化面ではレベルが高いと思っているが、拠点となるべく場所がない。

博物館など  
拠点となる場所が  
欲しい

○子ども達を含め、皆が安心・安全に学び、遊べる街でありたい。越谷の伝統文化や良い所を残し保存し、伝えていきたい。何時でも気軽に学びあえる場。人とのコミュニケーションが出来るようなかわりがあると良い。美術館、博物館は必ず！

○越谷市の歴史を継承していきたい。歴史博物館。イジメのない、モデルシティにしていきたい。外国人の受け入れを歓迎。

○越谷市のことが、歴史や文化、産業がわかる資料館ができるといい。市内で育った子どもは学習しているが、大人になって移り住んでいる人が多い。知らないから市に対する思いが不足しているかと思う。昔からある街、新しい街を活かした学習機会があるといい。フリーで利用できるような。

○「越谷らしさ」を残しつつけながら、発展しつつける街になって欲しいです。グローバル社会で人と情報の移動に流されない文化を持つ街でありつつけて欲しいです。

○川遊びができる、緑色

いっぱい、にぎやかな街

誰もが学びやすい  
環境をつくる

（川、公園など）。子ども、高齢者、障がい者が安心して暮らせる街（交通便やバリアフリーが整っている街づくり）。手話や筆談など、円滑なコミュニケーション。そして社会参加しやすい街づくり。

○「だれもが」というなら、越谷市に住んでいる外国人とその子ども達（家族）に対する施策を考えて欲しいと思う。それが「ダイバーシティ」につながると思う。市内施設の利用を延べ人数で書いても意味ない（レイクタウンに年間5,000万人来ると発表するのと同じ）。もっと気楽に利用出来る様に規制を緩めるべきと思う。「水と緑と太陽」とか「いつでも」「誰でも」というスローガンでなく、具体的に示すべきであると思う。

○将来の越谷市が幼稚園からシニア世代まで、市内で生活拠点をもち続けながら、充実した幅広い教育を受けられる機会のある街になればいいと思います。

○だれでも、いつでも学べる環境。子どもから高齢者まで、365日いつでも、学習からスポーツレクリエーションまで。

○私も現在3～4のカルチャーを楽しんでおりますが、やはりお月謝もかなりかかります。「市で何が学べるか？」ということを事前に調べ、市のカルチャーやワークショップ等を利用できれば良いのですが、決まった曜日に決まった先生に長く学べるということができないのでは？学習、文化的な趣味、運動など、長期中で学べるコースを作ってほしいと思います。

○多世代が交流しながら子育てやまちづくりの担い手育てができるまち。

- 子どもから大人（高齢者）まで、幅広い世代がともに学びあえる街にしたい。違う世代の人たちが、伝統・文化やスポーツなどを通して、ともに学び合える機会を増やし、世代間の交流を盛んに行っていくことで、より良い越谷市になっていくと思う。
- 情報提供の資料説明では、市の充実ぶりが分かりました。一方、参加していない自分とのGAPも感じました。施策が実感できるようになっていたら良いと思います。趣味等で集まる場も良いですし、年齢や国籍等、多様な人たちが集う場もあれば良いネと思います。学習を受けた人が次の人に受け渡す仕組みがあったら良いです。
- 各世代で興味があることについて、活動できる機会が整っており、生き生きと生活できる越谷市だったらよい。
- 学校図書館に専任、専門の司書を1校に1人配置してほしい。文化省に選ばれないで、学校の特色を出せたら良い。学校トイレを早く洋式化してほしい。現在、1校に1個。給食を自校方式にしてほしい。災害時にも利用出来る。生涯学習は文教大学と連携して、もう少し内容を幅広くしてほしい。市民会館、コミセンだけを中心としないで、市内全域で文化を楽しめるようにしてほしい。
- いじめを予防／改善する仕組みが整備された「まち」。市外／市立に行く児童（小学生卒業生）が少なくなる、魅力ある中学校づくり。PTAの声が校長で止まってしまわない、コミュニケーション体制の構築。
- 本日は子どもの教育を中心にjoinする目的です。子ども達が元気で、すこやかにすくすくと明るく、事件に巻き込まれることもなく育ててほしい。これが将来の願いです。生涯学習については余りお世話（利用）になっておりません。
- 将来、全国の人に越谷に住みたいと思ってもらえると良いと思います。越谷は何も無いけど、災害も無い住みやすい所だと思います。テレビ等で全国にアピールして欲しいです。

学校教育  
について

住みたいまち、  
住みやすいまち

- 大人になったときに、戻ってきても良いな、良い思い出がある越谷。人（友人、近所の人）、場（身近な施設）、コト（祭りとか）。
- 自分たちが生涯、越谷市に住みたい、また子どもたちが大人になって家庭をもったときも、越谷市に住んで子育てしていきたいと思える街だったらいいネ！
- 子育て世代から人生100年を目指す人まで、くらしやすいまちにできたら良いと思います。隣接自治体との連携。
- 昨年は越谷市制60周年で、マジックのボランティア活動の中でクラブと個人的にも感謝状を頂きました。ゆりのき荘で60才以上の方が利用する事が出来る所が4ヶ所あり、風呂も利用出来る事が健康のために良いです。城ノ上小学校の帰校の交通安全パトロールをしています。もっとおじいちゃん、おばあちゃんとの接し方、一緒に昔遊びのような勉強会があっても良いと思います。草加、春日部よりも越谷は住みやすい所ですねと友達が言って下さいます。
- 越谷は「こういう生涯学習が進んでいるネ!!」と他市の人達が見学にくる様なものをつくりたい。若手にいろいろ役割をまかせて、年寄りはそのフォローにまわる。施設があるが、なかなか使いにくいのは、施設が県と市の天下り先だから。世代交代が必要。
- 選挙投票率70%のまちになったらいいね。教育・生涯学習、自治基本条例にきちんと取り組めば70%になると思う。市議、自治会会長、市職員の管理職の半分は女性。
- 気楽に相談、発言出来る！市民と職員との考え方のズレを習う。

他市に  
誇れる越谷

3グループ



## 10年後の越谷『5つの夢プロジェクト』を考えよう！

『教育、生涯学習』に関連した『越谷のここが問題』をポストイットに書き出した後、問題点を解決するような『5つの夢プロジェクト』をグループで話し合っていていただきました。

### 1 グループ

1. 越谷の伝統、文化を守ろう
2. 子どもも高齢者も障がい者も安心して暮らせる街づくり
3. 世代間交流の場所づくり
4. 自然を使って遊んで学べる環境づくり

(具体的なご意見)

- ・図書館の隣に美術館or歴史資料館を作る。
- ・歴史博物館の設立、教室。
- ・博物館、美術館。
- ・図書館を増やしてほしい。
- ・ネギ、ダルマなど発祥地に関する博物館。
- ・伝統文化を守る支援活動を。
- ・越谷の文化、伝統を若い世代に伝えていく。
- ・伝統を残す、守る！（藍染など）
- ・越谷市の伝統継承。藍染（2～3年前に終了）、だるま作り（前橋市に負けている）、くわい作り。
- ・伝統文化の保存と伝えていく力。
- ・桐箱、おひなさま、かぶと（甲冑）、おせんべい、江戸切子。
- ・古い家、街並みを守る（観光地にするとか）。
- ・バリアフリー。災害時の情報発信、避難所での情報保障。
- ・高齢者が安心してどこへでも行けるようにコミュニティバスを運行してほしい。
- ・川を使った交通手段があっても良いのでは。
- ・見守り体制の強化（通学路パトロールetc.）
- ・学ぶ場所、内容等の情報伝達を分かり易く伝える。
- ・学校図書館の1校に1人の専任、専門の司書を！
- ・子ども達が安心して学ぶことのできる環境づくり（登下校時の安心、安全の確保）。
- ・子ども達が生きていけるような力を学ばせる。
- ・生涯学習を各地域に分散してほしい。
- ・幅広い世代がともに学びあえる機会を増やす。
- ・レイクタウンなど水辺や緑を活かしたレクリエーションやスポーツをたくさん行っていく。
- ・フレンドリーな越谷へ。生活の中でのイベントに関する情報発信手段を多様化する！

#### <1グループの発表から>

1. 越谷には藍染、だるま、くわい、桐箱やお雛様、おせんべいや江戸切子などがあるが、あまり知られていない。こういった文化を守っていききたい。
2. 生まれた時から耳が聞こえない方がグループにおられたのでいろいろと話を伺った。台風や地震の際、耳が聞こえず今、何が起きているか分からず不安がある。そういった方々を体制をつくって守り、外に出られる環境をつくって、皆さんで学ぶところを強化したい。
3. ママならママ、お年寄りならお年寄りという形で集まっていて、世代間の交流の場がないことが課題。学習というのは勉強だけではなくて、若い世代は育児の経験がある大先輩から教わったり、逆にお年寄りも若い世代から学ぶ。家に閉じこもらず外に出て、世代の壁を取っ払って皆さんで話し合うと良い。
4. 机上で勉強するだけではなく、外に出て土をいじって、たくさん遊ぶ。昔ながらの遊びをして手を使うことで、脳も活性化されていくのではないかと。越谷には川も公園もたくさんあるので、そういった場所をフルに活用して、皆さんで外に出て勉強以外の学習をしていきたい。



## 2 グループ

1. 多世代が交流・学び・発信
2. 学校・教育（子供の居場所づくり）
3. 体を自由に動かせる場づくり（ボール遊びなど）
4. 子どもから大人まで集える場の提供
5. 文化の伝承の場、体験できる場（美術館・博物館）

（具体的なご意見）

## 場の提供

- ・SNSを使って発信→遊ぶ場。大学生のボランティア（県立大とか文教とか）。
- ・高校生・大学生でもミラクルに来て、体験できる遊び場。
- ・寺院、神社を開放。遊ぶ場所提供。
- ・雨の日でも体を動かせる場所がもっとあるといいな。
- ・子どもと大人と一緒に楽しめる場の提供。
- ・児童館の夜間の開放（中・高生の行き場）。
- ・学校応援団を活用し、地域住民との交流を充実させる。

## 教育・学校（親も含めて）

- ・子どもの育ちを信じる教育（指示×）
- ・苦手に手を貸す。
- ・得意を褒めて更に伸ばす。
- ・小・中学校の授業から越谷のまちづくりのワークショップやグループディスカッションをして、越谷を知ってもらうこと。
- ・コミュニティスクールの推進を図っているが、各学校進んでいるのか？（学校運営協議会）
- ・先生の働き方改革。地域住民や保護者が援助する。

## 公園

- ・公園（ボール遊びができる）。
- ・利用できる公園。
- ・公園利用にダメが多い。
- ・就学前の子供が遊べる場所が少ない。
- ・子どもが公園で自由に遊べない。

## 多世代交流

- ・草加市に学び、地域の住民が学校内に入る（平成塾）。
- ・大人が子どもの手本。
- ・楽しく自由に学べる。
- ・いろいろな世代がかかわる場所が少ない。
- ・親と子どものズレ。興味がない。
- ・子どもを守る責任の所在。

## 施設

- ・郷土の文化財を展示する場所がない。
- ・博物館がほしい。美術館。
- ・今ある施設をリニューアル。
- ・市展を美術館で開催したい。
- ・サンシティが使用できなくなる。再開発はどうなるのか？

## ＜2グループの発表から＞

1. 大学で、遊び場の公園運営リーダーとして子ども達が安全に遊べる場所をつくっている。若者やいろんな世代が連携して遊ぶ場所と遊びを発信していけたら良い。
2. 子どもの居場所が少ないのではないかと。越谷のまちづくりワークショップ等を通して子ども達に越谷を知ってもらい、子ども達がずっと越谷に住み、親になっていけば、人口も維持できるのではないかと。
3. 高校の頃バスケット部だったが、ドリブル練習する場所が、しらこぼと運動公園場や市民球場の近くしかなかった。もっと公園を活用したら良い。
5. 越谷市には美術館や博物館がなく、歴史体験などを継承する場が少ない。子どもや親が学べる場をつくるのも大切だと感じた。



## 3 グループ

1. 若手中心の市民の声を反映させるプロジェクトチームの創設  
(市の職員と市民からなる)(ex. 39才以下)
2. 広い地域で質の高い教育(隣接市との合同企画)(最先端技術を学べるような場、英語など)
3. 世代間交流充実(小学校の空き教室の活用等)
4. 制約条件を柔軟に運用し、若い人も活躍できる管理制度の見直し
5. 投票率70%につながる教育(新しいKPI(評価するための指標):投票率??)

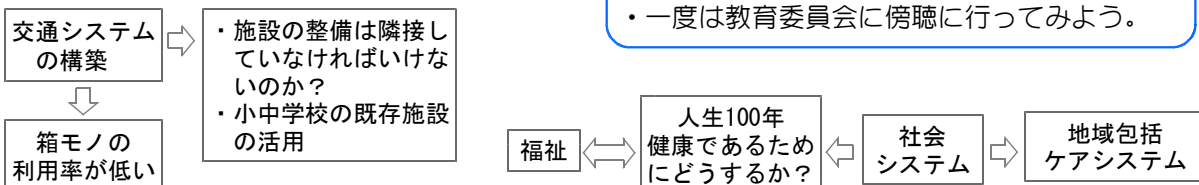
(具体的なご意見)

- ①
- ・若い人たちの声を聞き、それを実現するためのプロジェクトチームの作成。
  - ・市民の声が実行・実現されるためのプロジェクトチームの作成。
  - ・楽しく生きていくための議論を実行していくためのプロジェクトチームの作成。

- ③
- ・子ども世代と高齢者世代の交流不足。
  - ・学校施設の有効活用不足(責任問題から閉鎖的になっているのではないか?)
  - ・シルバーカレッジ、生涯学習フェスタのマンネリ化。
  - ・放課後(帰宅後)の遊び場不足(特に小学生以下)。
  - ・児童、生徒の減少(全国的な問題)。
  - ・施設の老朽化。
  - ・これから小学校の空き教室が増えるのだとしたら…それらの利用の仕方を皆で考えよう。
  - ・隣接自治体との合意形成が必要。
  - ・隣市と美術館、博物館、なんとか館など、共同運営されるといいと思う。
  - ・ミラクルは素晴らしい!ミラクルから遠い市内に住んでいる子どもや大人も利用しやすいバス路線をつくろう!

- ②
- ・さいたま市は大宮、浦和、岩槻などが合併して広い。越谷市も広いけど、さいたま市から見れば狭い。春日部、草加など隣市を視野に入れた環境問題を含む計画を考えていこう。
  - ・近くに公民館やコミセンがあって、そのロビーは予約なしで誰でも使えた。越谷駅前みたいに。大きな建物の公民館より近くの入りやすい公民館があるといいな…。
  - ・公民館運営審議会のある市に住んでいました。身近なテーマ、課題を学ぶ企画が多く、参加しやすかったです。越谷市は生涯学習審議会の中に公民館が入っている。
  - ・専門性、最先端の学習施策が少ない。
  - ・教育・生涯学習。自治基本条例を真に取り組んで投票率をUPさせる。
  - ・地域密着した文化芸能の取り組みが弱い。
  - ・進歩し続ける技術を使いやすくする研究が必要→自然に出来る様に。
  - ・質の高い教育とは何か?
  - ・いじめ、不登校対策。通信教育を小中学校はできないの?

- ⑤
- ・教育・生涯学習。自治基本条例を真に取り組んで投票率をUPさせる。
  - ・選挙の投票率が低いのは、教育レベルが低い為ではないか。
  - ・施策内容が市民に伝わっていない。
  - ・一度は教育委員会に傍聴に行ってみよう。



## &lt;3グループの発表から&gt;

若者が市の職員しかいなく、発表は市の職員以外という話だったので若者の発表ができなかった。そんなルールを破ることこそが今、大事だと思う。出した意見をまとめるのをやめようというところから始めた。まとめない、いかに多様化できているグループかなと。

1. テーマにどれだけつながるかはどうプロジェクトチームを運用するか次第。未来あるチームになると思う。
2. 高い技術、高い教育を目指すようなことを広域でやっていきたい。

- 有効活用できていない場所を使いながら、様々な人が交流できるところを充実させたい。
- 施設利用の制約条件を低くして、誰でも自由に使える、柔軟な管理制度をやっていききたい。
- 自分たちの権利、自由がどういうものか、きちんと教育を受けていれば投票率はもっと上がって然るべき。投票率70%超につながるような教育をどんどんしていきたい。

## 4 グループ

- 今ある施設を効率的に活用
- いつでもだれでも生涯学習
- 教育機関の連携
- 外国人とのコミュニケーションによるまちづくり
- 資料館による郷土愛育て



(具体的なご意見)

- ①
  - ・スポーツ施設が少ない。
  - ・市のグラウンドなどが一般の人が使う時に、空いているかどうか現地にいかないとわからない。⇒ネットで使用状況を分かるようにしてほしい。
  - ・市内には立派なハード(箱物)があるので、本当の意味でいつでも・誰でもが利用できるようにソフト(規則など)を考え直してほしい。利用者の(延べ)人数だけカウントしても不足情報となるだけ。
  - ・公園でやきゅうやサッカーをできるようにしてほしい。
- ②
  - ・生涯学習の講座がたくさんあるが、参加できる日程でない。
  - ・いつでもだれでも生涯学習。
  - ・グループ、団体に所属していないとなかなか参加、活動できない。
  - ・地域全体で子育てができる環境づくり。
  - ・社会人が参加できる夜、朝の勉強会。
  - ・講師費用。
  - ・子ども達の活動に対して、親が役員になりたくないなので参加できない。
- ③
  - ・学校と生活圏のずれ。地区活動、通学範囲。
  - ・学校の数の不均衡。グラウンドが年々狭くなっている。⇒近隣の駐車場や借地、賃貸ビルを一定期間借りて(20年など)、校舎として使うなど。
  - ・小中学校の統合。
  - ・明正小学校のクラスの人数をへらしてほしい。34人を26人ぐらいにしたい。
  - ・学校ごとの児童、生徒数のかたより。
  - ・図書室の本のしゅるいをふやしてほしい。
  - ・昼休みを50分間にしてほしい。
  - ・クラスのボールを4つにほしい(サッカーボール2、バスケのボール、ドッチボール)。
- ④
  - ・ダイバーシティ(多様性)をうたうなら、市内の外国人に対する政策も考えて欲しい(特に子どもの不就学の実態がどうなっているかの現状と対策を策定すべきと思う。一体何人いるのか?)。
- ⑤
  - ・資料館等の施設。

### <4グループの発表から>

- 越谷市には施設の数自体はあると思う。ウェブに、各施設の利用状況の一覧を載せたり、気軽に使えるようなソフト面の改善をすれば、今ある施設が効率的に活用できるのではないか。
- 現役世代が参加できる勉強会がないので、開催時間や曜日等の改善が必要ではないか。
- 越谷市はエリアによって子どもの数に偏りがあるので課題が異なる。横の連携をし、地域の課題を共有して、全体としてより良いまちづくりをしていければ良いのではないか。
- これからの時代、外国の方が住みやすいまちづくりをするのは当然のこと。
- 3年生と幼稚園の子どもがいるが、この越谷市を好きになってもらい、老後までここに住みたいと思ってもらえるようなまちづくりが出来ればと思う。その中で郷土愛、地元愛を育てることは非常に大事だと思う。数が少ないのでハード面を充実していく必要がある。

5 グループ

1. Webコンテンツの充実と支援
2. 施設利用時間の拡大
3. 3世代が共に学べる企画＜少年、青年、壮年＞
4. 学校医に心のケアの専門家を!!
5. 小中一貫教育の実現

(具体的なご意見)

【生涯学習】

- ・Webコンテンツの充実支援。
- ・最寄りの公共施設で毎週〇曜日は体操や手芸など、決まった日にやっている。
- ・公民館へ行けば月～日、すべての曜日で学ぶことが出来るよう!
- ・活動が身近な人に伝わらない(イベントなど)。
- ・生涯学習についてのアンケート(何を学びたいか?)。
- ・施設利用時間の拡大。
- ・小学校、中学校の生徒と老人が一緒にする行事があると良いと思う。
- ・高齢者と小さな子ども達とのふれあい。
- ・若い人たちの関心をどう持たせるか?
- ・大人たちが子供に関心を持っているか?
- ・若者と老人がディスカッションする場があって活気づくと良いと思う。
- ・スポーツ振興なのに公園でボール遊びができない。

【教育】

- ・先生にイイネ!をつけたい。
- ・転入者を増やす義務教育の差別化  
⇒小中一貫教育の推進強化。
- ・小中、あるいは中高一貫校の実現を目指す。
- ・学校医として精神科医をできるだけ早く制度化する。
- ・いじめを現場で無くす努力。
- ・大相模中付近の学生が、挨拶通りの辺りできちんとおじぎをします。
- ・フレイダーの場所が何力所か必要だと思う(年齢関係なく)
- ・高校・大学・会社員、どんどん地元から遠くなってしまう?(キヨリ、気持ち)

＜5グループの発表から＞

生涯学習の1～3のプロジェクトと、教育問題の4,5のプロジェクトに分けて考えた。個人的には、この5つの夢のプロジェクトの一つか二つでも実現できれば、今回の集まりは大成功ではないかと思っている。

1. 最近はスマートフォンでいろんな情報が発信できるので、若い人たちにも参加してもらえば良い。教育委員会や市でも、ホームページ等はあるが、もっと堅苦しいものではなくてなめらかな、若い人たちに喜んで見てもらえるようなものを充実させて支援をしていけば良い。
2. 市にはいろんな施設があるが、利用時間が決まっている。若い人たちに使ってもらうには施設の利用時間の拡大も必要ではないか。
3. 少年、青年、壮年の3世代が共に学べる企画をすれば、たくさんの人に参加してもらえるのではないか。
4. いじめ問題等、隠れた問題がいろいろある。学校医に心のケアの専門家を雇い、いじめ問題等を解決していければと思う。
5. 小学校、中学校の一貫した教育も大事ではないか。



## 「感想カード」

今日、参加して感じたことなど、自由に感想カードに記入していただきました

### 勉強になった

- 各回の中でも今回のテーマは特にKPI(評価するための指標：key performance indicator)の合意設定が難しかった。メンバーの様々な立場、経験に基づくご意見を伺え、勉強になりました。
- 生涯学習については、やはり何時何処で何をということが良く伝わっていないなあと感じています。教育については、いじめなど広い範囲でディスカッションできて、とても活発な意見の交換が出来て、たいへん勉強になりました。
- 「生涯学習」という言葉のイメージについて、以前より、私も周囲の方々も思い浮かべるイメージが変わったのではないかと思います。勉強になりました。ありがとうございました。
- とても有意義な懇談会ができたと思います。教育が代われば様々なことが大きく変化すると思います。市職員の方々のご意見、感想もお聞きたいと思います。
- 大変勉強になりました。
- 今迄、それ程関心を持って来なかった分野だったので、今日は皆様のお考えを聞こうという立場から出席させていただきました。テーマについて自分でも考え、まとめとして話し合いをする中で、新しく多くの考え方に接し、とても役立つものとなりました。
- 今回、初めて参加させていただいたのですが、市民の声や意見などをいろいろと聞けて、情報交換などもできてとても良い刺激になった。話し合うことはもちろん大事なんですが、市民の力で何か動き出して、いい街に変えていけたら良いと思いました。今日はありがとうございました。
- 今日は人数も多く勉強になりました。学校教育に関しては現状を把握できないまま、会議に入ってしまったような気がします。関係者にレクチャーを受けても良かったかなと思いました。

### 多世代で話し合えて良かった

- 今回は若い年代の方も参加して、活発な意見があったと思います。越谷は住みやすい、安心して生活出来る市であってほしい。
- 小学生のお子さんと参加された方がいました。彼の声なきききたかったです←きいてくださって…ありがとう。彼はパパからどう云われて参加する気になったのかな…。若手の参加プロジェクト…とか、若手の意見は毎回出てる…て、その意味するところが各々、多少違うような…。最後、7回目にもう少し掘り下げられたら…企画側は掘り下げたくないのかも…？
- 3回目の参加でしたが、若い人のエネルギーに刺激されました。市に市民に役に立ちたいという思いが強く感じられました。若い人が集まれる場を設けられたら良いと思います。市の職員の方が加わることにより、スムーズに事が進むように思います。
- 施設の利用方法と開放時間の工夫で、もっと利用価値のある場になると思います。異世代が加わって話すことは、相互に気づきと学びがありました。
- 初めて参加させていただきました。越谷市はエリアによって実情や課題が異なる特殊な市だと感じています。その中で、同じ市内でも他の地区の皆様と、また異なる世代の皆様とお話ができたことは非常に有意義でした。個人的には、子供が参加できて、子供が積極的に意見をいていたことにおどろきました。
- はじめてここにきて、い見を言えてよかったから、また次もい見を言いたいけど、今日言ったことがほんとうになってくれるといいなあと思います。こんどはさい終かいだけど、いけるか分かんないけど、いけたら意見をいいたいです。楽しかったです。

## 学んでいきたい

- 「教育、生涯学習」という幅広いテーマを短時間で話し合うのは少々むずかしいが、考えている事、思っている事は同じ様な内容が多いと思われた。少しでも越谷市の生涯学習が発展し、多くの市民が学びあって人間力を高めていければと考えています。博物館、美術館をぜひお願い致します。
- 教育、学校教育、人間教育…生涯学習、地区コミュニティ、多文化、タキにわたりますが、とても大事なことです。これがくずれないためにしっかりと計画をしていただきたいです。今日、出席者みな同じように教育を大切にしているかと思っています。ハード面は予算等がありますが、ぜひ市の資料館を実現。市を学習することは将来につづくと思います。
- 大人自身の再学習必須。
- 伝統が沢山ある越谷の歴史を、世代間を超えて継承していきたいと思いました。子供、お年寄りの交流は生涯学習をする上で重要と考えています。
- 学習・教育がテーマということで、少しむずかしいテーマでしたが、子から親の世代まで遊び、交流できる場づくりが必要なことが分かりました。
- 多様性を学ぶことは重要と感じました。教育の分野を狭くとじこめていく方向ではいけないと思います。いろんな人が居る事を認識する所から始まり、それぞれが持っている特長を学んでいきたいと感じました。

## 今後の進め方

- 今日の「5つの夢プロジェクト」の1つでも2つでも実現出来れば、この勉強会は大成功だと思います。
- これまで6回の懇談会で、中にはテーマが重なっていることもあったが、ほぼ討議すべきテーマは出尽くした様に思います。7回分も含め、市民の意見をよく読み直して、形・内容の有る政策案にまとめて欲しいと思います。参加してくれた全員に、とりまとめた（案）を必ずフィードバックしてくれる様にお願いします。
- 生涯学習にはあまりタッチしていないので、コメントは控えます。教育の面では①学校医に精神科医を！百歩ゆずってカウンセラーを充実させること。②小中一貫校の早期実現をめざす。
- 第6回ぐらいにして、ようやく型にとらわれない議論が行われるようになった。コンサルタントの方々は型通りに進めようとはしますが、結局問題・現状をぼやかしてしまう。目的と手段をとりちがえてはいけません。市民の率直な意見を聞き、議論してシェアする事が目的。そのための手つづきであり、手段である。これからこの様な会は、運営のやり方をそろそろ考える時期ではないでしょうか。市役所の若手メンバーがプロジェクトチームを組んで、この様な会を運営・実行する事をのぞみます。コンサルタント活用しているうちは「自立」とはほどとおいでしょう。失敗、うまくいかなくてもいいじゃないですか。そのような場をつくる事、実行する事が「若手の育成」の場になるでしょう。「若手にいろいろやらせて」、年寄りはそのフォローにまわる。

## 若手職員の感想

- 子どもを持つ親として、いろいろと勉強になるお話がきけて、とても有意義なグループワークとなりました。子どもにも分かりやすい内容で、子どもを交えてこのような場を設けるのもいいなと思いました。
- 普段の業務では同うことのできない幅広い視点からのご意見をきくことができ、非常に勉強になりました。これからの業務で、今回のグループワークから学んだことを活かしていきたいと思っています。
- 様々な立場の方々と、それぞれの視点から意見をうかがうことができ、気づきにつながった。今後の業務の参考にしたい。
- 幅広い年代がそろったグループでした。教育の今昔を比較して、意見交換ができ、知らなかった視点を学ぶことができました。
- 教育現場から離れて久しく、皆さんから情報を吸収できたので、勉強になった。現役世代の関わりが課題との話があったが、その解決策がなかなかむずかしい（体験談）とのことで、身近なところから心良く巻きこめる環境づくりが大切なのかなと感じた。

発行：越谷市 市長公室 政策課

TEL：048-963-9112/FAX：048-965-6433

都市整備部 都市計画課

TEL：048-963-9221/FAX：048-965-0948